

## 参考文献

- 諸井恒平（1902）『煉瓦要説』
- 日本煉瓦製造株式会社社史編集委員会編（1997）『日本煉瓦一〇〇年史第2版』
- 株式会社マヌ都市建築研究所編・龍ヶ崎市教育委員会発行（2018）『竹内農場赤レンガ西洋館の平面図等作成及び保存に係る調査報告書』
- 龍ヶ崎市教育委員会編・発行（2018）『竹内家文書・竹内明太郎日記調査報告書』
- 公益財団法人東京都公園協会（2015）『長岡安平没後90周年記念展わが国ランドスケープの嚆矢長岡安平』図録
- 緑と水の市民カレッジ事務局編（2015）『長岡安平の残した設計図—わが国ランドスケープの嚆矢』公益財団法人東京都公園協会
- 浦崎真一（2017）『長崎偉人伝 長岡安平』長崎文献社
- 長岡安平顕彰事業実行委員会編（2003）『祖庭 長岡安平 わが国近代公園の先駆者』東京農業大学出版会
- 進士五十八（2015）『日本文化としての公園—長岡安平の造園哲学—』都市公園No.211
- 新潟市公式サイト（2020）『白山公園』
- 女化開拓史刊行委員会編（1985）『女化土づくりムラづくり苦闘百年』エリート情報社
- オエノンホールディングス株式会社（2020）『牛久シャトー公式サイト』
- インターネット地図・ローカル検索サービス（2020）『ゲーグルマップ』
- 小松商工会議所機械金属業部会編（1996）『沈黙の巨星—コマツ創業の人・竹内明太郎伝』北國新聞社出版局
- 宿毛明治100年祭施行協賛会（1968）『宿毛人物史』
- 北茨城市（1990）『北茨城市史別巻3 石炭史料I』
- 北波多の自然と歴史を守る会（2018）『幻の「芳谷炭坑」』
- 遊泉寺銅山跡地域活性化委員会（2019）『遊泉寺銅山跡記念碑建立記録誌』
- 糸魚川市公式サイト（2017）『糸魚川市橋立金山産 幻の自然金を発見』
- いはらき（現茨城新聞）大正8（1919）年5月7日発行
- 山野好恭・岡田武雄共編（1916）『常磐炭鉱誌』
- 宿毛市公式サイト（2019）『宿毛歴史館』

## 謝辞

下記の方々には情報提供など、ご協力いただきました。誠に有り難うございます。

幾島 審	深谷市教育委員会文化振興課
黒田 晃子	公益財団法人東京都公園協会公園事業部緑と水の市民カレッジ事務局
榎崎 幸晴	北波多の自然と歴史を守る会
福田 忍	コマツ粟津工場総務部
真中 ハツ	元竹内農場西洋館居住者
村上 正史	コマツ粟津工場総務部
矢木 伸欣	宿毛市宿毛歴史館
藪並 睦士	コマツウェイ総合研修センタ

## 編集後記

### NPO 法人龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会冊子委員

**前田享史**（理事長）3～7 担当：蛇沼ほとりの赤レンガ西洋館は、明治・大正時代に私財を投げ打って日本の工業化に尽くされた竹内明太郎の別荘です。わが龍ヶ崎が、このような偉大な実業家と拘わりがあったことは、市民の大きな誇りです。そんな誇りがたくさん込められた冊子を、仲間と一緒に作ることが出来て大変嬉しいです。

**小林昭雄**（副理事長）13 担当：「竹内農場西洋館イベント」を開催以降、この保存活動に深い関心を持たれた方々が当会に入会して下さいました。この方々は、建築、美術・工芸、文学、広報等に優れた知識があり、冊子委員会編集委員も積極的に担当下さいました。私は大変心強く、嬉しく思っています。

**島村宏之**（副理事長）11 担当：長岡安平の設計図通りに庭園ができていたかどうかに関心があり、現存する最古の空中写真（陸軍撮影）で調べましたが、西洋館の周りに梅林は見出せませんでした。残念です。

**中原篤徳**（理事・顧問）8 担当：担当箇所が建築様式ということもあり、氣息奄々、遅筆を重ねましたが、前田理事長はじめ会員の先輩方の気迫に押され、何とか執筆を終えることができました。新出の資料の登場と専門の研究者による学術的な西洋館研究が今後期待されますが、まずは隗より始めよということでご容赦頂き、拙稿へのご批判、ご叱責を賜りますれば幸いです。

**田中加代**（理事）12 担当：今回竹内農場西洋館冊子編集という役を通じ、当初は所謂廃墟という観点で若干の好奇心からというところでしたが、調べていくほどに竹内明太郎の偉業が解り、これを後世に残さねばならないという強い思いが沸き起こりました。冊子を通じてより多くの方に西洋館存在意義を感じていただけたら幸いです。

**渡辺浩美**（理事）1 担当：竹内農場には、まだまだ謎と課題がたくさんあります。なによりも、未来へどう引き継ぐのか、何を伝えていくのか、今すぐは結論は出ないことばかりかもしれません。それでも、この壁を皆さんと乗り越えていけると確信しています。楽しくわくわくしながら、ちょっと汗をかいてがんばりましょう！

**清水祐子**（理事）2、レイアウト担当：SNS で偶然出会った西洋館の美しさと歴史に魅了され、県外から保存活動の末席に加わっています。地域の歴史を語る貴重な文化遺産を後世へ引き継ぐことが私たちの願いです。

**海老塚良吉**（理事）9 担当：5 年ほど前からグリーンツーリズムの活動で農家民宿半兵衛の Airbnb での運営支援や中八代の竹林整備を行ってきましたが、今年の夏からは中心市街地の活性化に取り組み、筑波庵の保存活用が縁で入会することになりました。赤レンガ西洋館には建築職に関心があり、手伝わせていただきました。



大正9(1920)年竹内農場の西洋館竣工記念写真(龍ヶ崎市教育委員会所蔵)

竹内明太郎が残したもの 龍ヶ崎の赤レンガ西洋館 2020年3月30日発行

発行所 NPO 法人龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会

〒301-0041 茨城県龍ヶ崎市若柴町 878-5

Tel. 08066371950

URL <https://tatemono-hozon.net/>

Email [info@tatemono-hozon.net](mailto:info@tatemono-hozon.net)

発行人 前田享史

編集 NPO 法人龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会 冊子委員会

協力 龍ヶ崎市教育委員会

この冊子は「一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団 住まいとコミュニティづくり活動助成」の助成を受けて作成されました。